

都市再生整備計画 事後評価シート
鯖江中央地区

平成29年3月

福井県鯖江市

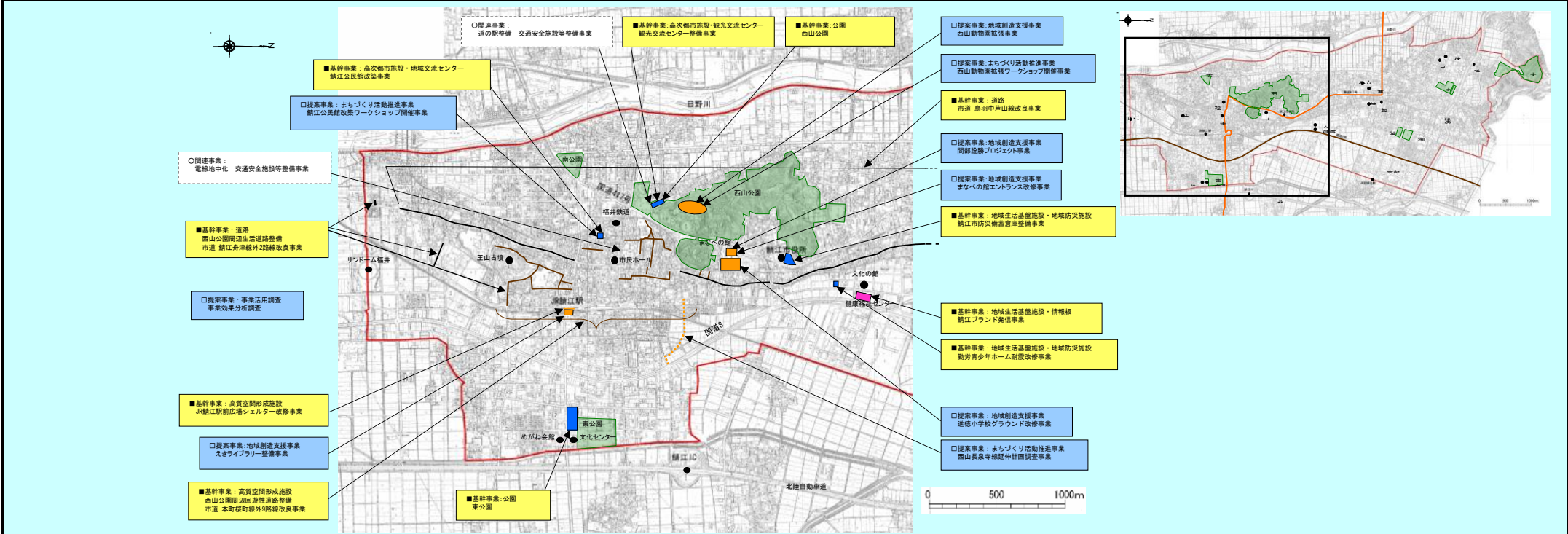
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	鯖江市		地区名	鯖江中央地区			面積	1,486 ha	
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年		交付対象事業費	1853.3百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道 鯖江舟津線他17路線)、公園(西山公園他3公園)、地域生活基盤施設(情報板他2施設)、高質空間形成施設(市道本町町線他11路線、まちなか装飾照明設置)、高次都市施設(観光交流センター、鯖江公民館)									
		提案事業	まちづくり活動推進事業(鯖江公民館改築ワークショップ開催、西山長泉寺線延伸計画調査)、地域創造支援事業(間部設勝プロジェクト他7事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道 鯖浦東線他7路線)			削除/追加の理由			見込んでいたコミュニティバスの運行計画との整合が困難となり、事業効果が見込まれないことから削除した。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道 日の出舟津線)、高質空間形成施設(JR鯖江駅前広場(シェルター改修))			JR鯖江駅を基点とした街なか回遊の利用促進のため追加した。			現時点では影響なし。			
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(西山動物園拡張ワークショップ開催)、地域創造支援事業(えきライブラリー整備・まなべの館エントランス改修)			道の駅及びJR鯖江駅の利用促進、街の賑わい促進を図るため追加した。			西山公園の利用者数の増加につながった。			
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	地区内人口減少の抑止	人	36,775人	H23	36,775人	H28	37,385人	○	あり ○ なし	生活基盤施設の整備による地区内移動の利便性が向上し、景観整備や地域活動拠点の整備等によるまちの魅力が向上したことが、地域内人口の増加の要因となった。	平成29年4月
	指標2	西山公園の利用者数	人	744,000人 (1,031,000人)	H23	866,000人 (1,200,000人)	H28	990,000人	○	あり ○ なし	道の駅と西山公園が一体となった交流環境が整い、周辺の歴史文化施設や商店街とも連携した魅力向上による相乗効果が利用者増加の要因となった。 利用者数の計測方法変更により、H28年度の算出方法で従前値は744千人となるため、評価値は増加したものと評価できる。	平成29年4月
	指標3	地域交流イベント数	回	17回	H23	20回	H28	23回	○	あり ○ なし	地域コミュニティの核となる施設整備に住民が関わる機会を設けたことで、まちづくりへの市民意識が増進し、市民と市の協働企画・実施するイベントが増加した。	平成29年4月
	指標4									あり なし あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	計画区域内を路線とするコミュニティバス年間利用者数	人	62,133	H23		66,849			道路整備によりバスの運行がスムーズとなり利便性が向上し、利用促進につながった。	平成29年4月	
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	ワークショップ等の開催 (西山動物園拡張ワークショップ・鯖江公民館改築ワークショップ・道の駅西山公園基本設計研究会)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 施設開設後も、市民と決め細やかな情報の共有化を行い、常に市民の決め細やかな創意工夫を活かすとともに、積極的に管理運営への参加機会を設けていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	鯖江中央地区における中心市街地の持続的な賑わい創出		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 多世代の地区住民や商店街などが地域の直面する課題を共有し、中心市街地の賑わいを持続的にしていくための具体的な取り組みについて検討し、実践していく。				

様式2-2 地区の概要

鯖江中央地区(福井県鯖江市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:「安心して住み続ける ふるさと鯖江」を実現するまちづくり	地区内人口減少の抑止	単位: 人	36,775人 H23	36,775人 H28	37,385人 H27
目標1: 安心して住み続ける歩いて暮らすまちづくり	西山公園の利用者数	単位: 人	744,000人 (1,031,000人) H23	866,000人 (1,200,000人) H28	990,000人 H27
目標2: 地域の宝を活かした交流・連携によるにぎわいのあるまちづくり	地域交流イベント数	単位: 回	17回 H23	20回 H28	23回 H27
目標3: 豊かな自然や歴史、伝統、文化を感じる美しいまちづくり					
目標4: 市民がともに支え合い、行政と一体となった市民主役のまちづくり					



まちの課題の変化

- ・JR鯖江駅や道の駅を起点としたまちなかの歩行ネットワーク整備が進んだが、今後さらに、多様な住民が安心して暮らせるための地区全体のネットワークの確立が必要である。
- ・新幹線開業により、現在、広域交通拠点であるJR鯖江駅の位置づけが変化することが考えられる。このため、新幹線新駅の整備を見ずえた交通体系の再構築が必要である。
- ・既存市街地の道路改修や学校グラウンドの改修等により生活環境の改善が進み、防災関連施設の拡充による暮らしの安全が確保されるなどして、まちなか居住が促進された。今後、長期的な視野で人口定着を図るための対策が必要である。
- ・市民参加型の道の駅や公民館整備により、まちづくりに対する市民意識の高揚が見られたが、今後、これらを持続、発展していくための取り組みが必要である。

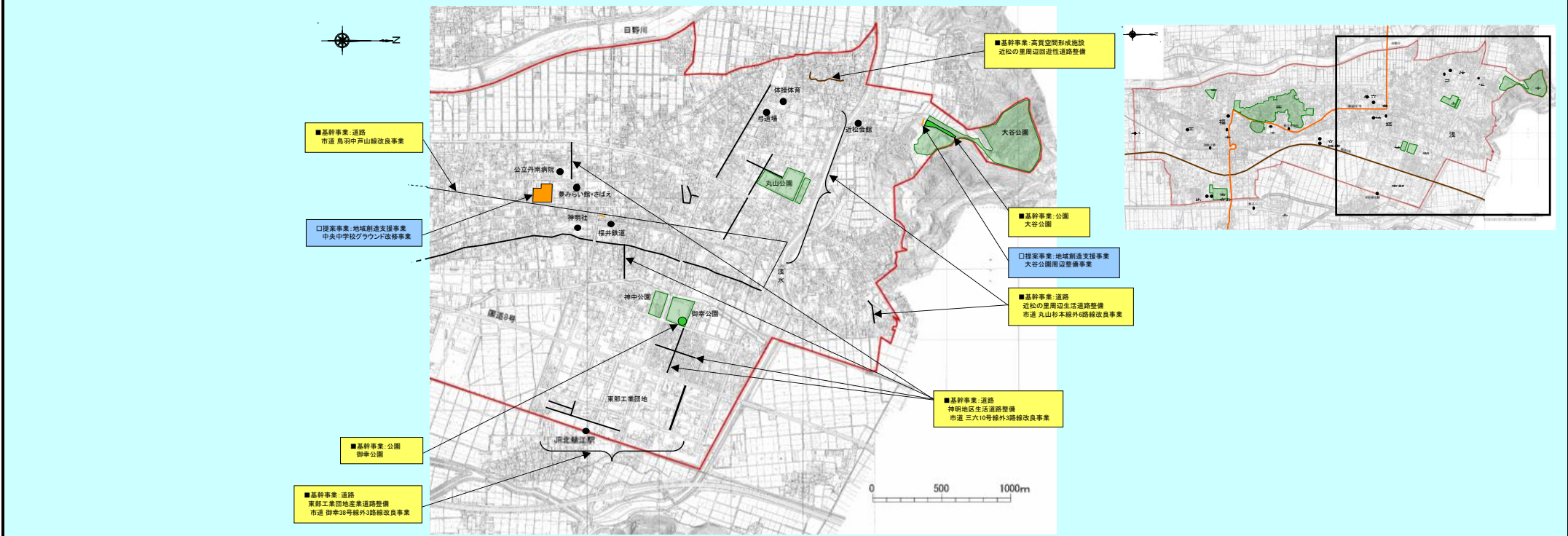
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 地区全体におけるコンパクトシティの実現に向けて、既存の都市インフラのファシリティマネジメントを構築し、これに基づいた効率的な都市機能の再編を進める。
- 新幹線開業後も見据え、広域交通ネットワークとJR鯖江駅や福井鉄道、コミュニティバス等の地域内交通の連携を再構築し、地区全体の歩きやすい環境のネットワーク化を推進する。
- 公共交通の各駅を基点とした主要施設への経路、まちなか回遊ルートのバリアフリー化を推進し、多様な人が住みやすい、訪れやすい環境とする。
- 都市の活力を持続するため、就学・就業環境整備や子育て環境の拡充など、若者が住みたくするような住環境整備を行なう。
- まちづくりの企画段階から新住民も含めた幅広い層の参画を促し、持続的なまちづくりにつなげるため市が側面的支援を継続する。

様式2-2 地区の概要

鯖江中央地区(福井県鯖江市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:「安心して住み続ける ふるさと鯖江」を実現するまちづくり	地区内人口減少の抑止	単位: 人	36,775人	H23	36,775人	H28	37,385人	H27
目標1: 安心して住み続ける歩いて暮らすまちづくり	西山公園の利用者数	単位: 人	744,000人 (1,031,000人)	H23	866,000人 (1,200,000人)	H28	990,000人	H27
目標2: 地域の宝を活かした交流・連携によるにぎわいのあるまちづくり	地域交流イベント数	単位: 回	17回	H23	20回	H28	23回	H27
目標3: 豊かな自然や歴史、伝統、文化を感じる美しいまちづくり		単位:		H		H		H
目標4: 市民がともに支え合い、行政と一体となった市民主役のまちづくり								



まちの課題の変化

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)